

画像史料関係文献目録

氏 名・タイトル	出典・号数・年月
山川 均「東播磨の中世石塔と文観」	『奈良歴史研究』86 2016.8
河本信雄「幕末久留米藩における田中久重の大砲製造」(上)・(下)	『福岡地方史研究』54・55 2016.9、2017.9
寺崎幹洋「研究ノート 上杉本洛中洛外図の成立について 佐々木哲の説の紹介と検討」	『福岡地方史研究』54 2016.9
近都兼司「近世中期壬生藩上方領における村落間争論と大阪蔵屋敷」	『市史研究みき』2 2017.3
長谷川奨悟「私が三木で見たいくつかの近世絵図について」	『市史研究みき』2 2017.3
日沖敦子「史料紹介 すみだ郷土文化資料館蔵『江戸寺院縁起絵巻』(江戸名所記絵巻)について」	『すみだ郷土文化資料館研究紀要』3 2017.3
蟻川 誠「見世物の境域—近世的区分における初出興行件数から—」	『花園史学』38 2017.11
高津 孝「鹿児島大学附属図書館玉里文庫に見る薩摩藩の海外情報収集—太平天国印書を中心に—」	『鹿大史学』64・65号 2018.3
原田和彦「新津図書館蔵 善光寺地震関係絵図について」	『長野市立博物館紀要』19(人文) 2018.3
野田浩子「佐和山古城図の史料論から百間橋を探る」	『彦根郷土史研究』51・52号 2018.3
植田憲司「『京都名所撮影』と桑田正三郎」	『朱雀』30 2018.3
後藤玉樹「二条城唐門の修理を終えて—彫刻の特質と飾金具の謎—」	『文化財建造物研究 保存と修理』3 2018.3
二本松泰子「中世鷹術流派の近世的展開—加賀藩における祢津家の鷹術を手掛かりとして—」	『立命館文学』658 2018.7
野口華世「中世天皇家からみる新田荘の成立」	『群馬文化』334 2018.7
塚原順子「ホウキモロコシを使った座敷簾」	『民具マンスリー』51-5 2018.8
藤本孝一「歴史史料の文化財化—貴族日記の故実書化—」	『鷹陵史学』44 2018.9
伊藤幸司「港町複合体としての中世博多湾と箱崎」	『九州史学』180 2018.9
丸山奈巳「近世の権力者の邸宅における催能の場についての考察」	『建築史学』71 2018.9
本井牧子「志水文庫蔵『六道変相八大地獄図』の信仰とその淵源」	『日本仏教総合研究』16 2018.9
菅原正子「『蒙古襲来絵詞』にみえる蒙古軍の服装と旗」	『風俗史学』67 2018.9
李徳方／(訳)宇都宮美生「日本の熊山古塔と唐代前期の仏塔との類比研究」	『法政史学』90 2018.9
吉澤 悟「講演 正倉院ガラス器の故地」	『史境』76 2018.9
三好志尚「研究ノート 中世鹿児島港と戦国城下町の形成」	『史林』101-5 2018.9
青木直己「京菓子の誕生—一七世紀京都の地域・社会・文化から—」	『立正史学』124 2018.9
江橋 崇「元禄年間後期の花合せかるたの発見」	『遊戯史研究』30 2018.10
長田あかね「能の絵画化—『(絵入謡本)』『あふひの上(葵上)』の挿絵をめぐる—」	『鴨東通信』107 2018.10
廣田浩治「荘園制解体期の遠隔地の散在型荘園—法隆寺領和泉国珍南荘(珍南荘)』	『研究論集 歴史と文化』3 2018.10
鈴木喜博「宿院仏師工房再論—研究の現在—」	『国華』1476 2018.10
川瀬由照「下御門仏師と金峯山寺蔵王権現立像、安倍文殊院住吉明神立像について」	『国華』1476 2018.10
有馬啓介「歴史余話 東寺領伊予国弓削島荘の総合調査」	『伊予史談』391 2018.10
鈴木麻里子「大福寺の仏像と歴史」	『甲斐』146 2018.10
武井協三 他「特集『歌舞伎の〈見得〉』について」	『芸能史研究』223 2018.10
成原有貴「女性を作善にいざなう絵巻—「当麻曼荼羅縁起絵巻」の制作意図と機能について—」	『ジェンダー史学』14 2018.10
久野華歩「静岡県指定文化財「富士浅間曼荼羅図(富士参詣曼荼羅)」の特質—図様解釈をめぐる—」	『美術史』185 2018.10
河野徳吉「京都の紙 第五章 中世の料紙 宿紙とその周辺」	『百万塔』161 2018.10
加藤雅人「日本の紙文化財—保存と修復—」	『百万塔』161 2018.10
米沢 玲「大徳寺伝来『五百羅漢図』について—僧院生活の描写と『禅苑清規』—」	『仏教芸術』1 2018.10
藤元裕二「岐阜市崇福寺所蔵「釈迦三尊十六羅漢図」について—先哲を含む日本中世の羅漢図の概観—」	『仏教芸術』1 2018.10
大河内智之「貞和三年康俊作海雲寺釈迦如来坐像及び迦葉・阿難立像について」	『仏教芸術』1 2018.10
柴田国広・渡邊慎也・石田陽是「調査研究ノート 平等院鳳凰堂のものさしと又四郎尺の一考察(序説)」	『文建協通信』134 2018.10
中村 覚「東京大学デジタルアーカイブズ構築事業 学術資産の利活用に向けた取り組み」	『漢字文献情報処理研究』18 2018.10
鈴木信孝「北条葉師堂大乘妙典一石字塔と道樹禪師—葉師堂にて国仙禪師による道樹三回忌法要—」	『伊那』1086 2018.11
藤元裕二「弁才天十五童子像」	『国華』1477 2018.11
紺野敏文「木造神馬立像」	『国華』1477 2018.11
伊藤宏之「板碑にみる武士」	『多摩のあゆみ』172 2018.11
伊藤俊一「山城国上野荘の水害と再開発」	『日本史研究』675 2018.11
森井友之「安祥寺五智如来像の造立年代をめぐる」	『文化史学』74 2018.11
村木二郎 他「特集 中世の聖地」	『歴博』211 2018.11
西谷正浩「荘園村落の世界」	『九州史学』181 2018.11
青木 敬「考古学における三次元計測技術の導入と利活用—古墳時代・古代における用例を中心に—」	『国史学』226 2018.11
植田 真「遺跡調査における測量技術の変遷」	『国史学』226 2018.11
横山 真「三次元技術を考古資料に用いることの意義」	『国史学』226 2018.11
尼崎博正「日本庭園・石造美術あれこれ(三) 椿山荘般若寺型石燈籠(下)」	『史迹と美術』889 2018.11
小山正文「大徳寺塔頭大源庵の絵図」	『史迹と美術』889 2018.11
川崎有里紗「尼崎城下町絵図の作成目的について」	『地域史研究』118 2018.11
栗三直隆「研究ノート 富山藩の京都屋敷と大坂蔵屋敷」	『富山史壇』187 2018.11
早川美奈子・渡邊三四一「三嶋石部神社および境内社・金刀比羅神社の奉納物について」	『柏崎市立博物館館報』32 2018.12
徳原哲二「新蔵資料「柏崎陣屋」について—本資料から新たに見える柏崎陣屋の姿—」	『柏崎市立博物館館報』32 2018.12
渡邊三四一「山を見て海を知る—第一回水産博覧会出品「石地駅漁場図」をめぐる—」	『柏崎市立博物館館報』32 2018.12

活動抄録 (2019年10月1日～12月31日)

10月15日 菊地家文書の取扱につき湯浅町と協議。【古写真研究プロジェクト】

10月16日 史料編纂所共催のドイツ東洋文化研究協会(OAG)主催「日墺修好150周年記念講演会」に協力した。【古写真研究プロジェクト】

10月19日～ 史料編纂所共催の港区立郷土歴史館主催の特別展『日墺修好150周年記念「日本・オーストリア国交のはじまり—写真家が見た明治初期日本の姿—」』の展示(～12月15日迄)に協力するとともに、谷(11月2日)・保谷(11月30日)が講演を行った。【古写真研究プロジェクト】

10月21日～24日 沖縄県名護市・今帰仁村に出張し、名桜大学にて研究会、今帰仁村歴史文化センターにて所蔵史料の調査などを行った。(黒嶋・渡辺・須田・畑山)【港湾都市図研究プロジェクト】

10月23日～25日 国立台湾美術館における「2019 International photograph conservation conference」に参加し、谷が報告を行った。(谷・高山)【本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト】

10月26日 国立台南大学において、谷がコロジオン湿板写真による150年前の東アジアのイメージに関する講演を行った。(谷・高山)【古写真研究プロジェクト】

10月30日『画像史料解析センター通信』87号を発行(黒嶋・三島)。

11月8日 史料編纂所国際研究集会「近代修史事業と史料集編纂の150年」において、井上が報告を行った。【本所における画像史料の複製集積過程の研究】

11月9日 NHKと8K番組の制作に付き打ち合わせ(11月30日・12月3日・9日)。【古写真研究プロジェクト】

11月11日 ROIS-CODH シンポジウム「AIがくずし字を読む時代がやってきた」において、井上が報告を行った。【電子くずし字字典開発プロジェクト】

11月14日 東京大学理学部図書室にて所蔵史料の調査を行った。(黒嶋・渡辺)【港湾都市図研究プロジェクト】

11月17日 山国荘調査団調査成果説明会(京都府京北合同調査)で、プロジェクト(2018年度)の成果として、藤田明良氏が「山国神社に伝わる2枚の世界図」というテーマで成果報告を行った。【世界図屏風の研究プロジェクト】

12月1日 本センター協力のシンポジウム「住吉の豪商・吉田家のお宝—まぼろしの聆濤閣コレクション—」(於白鶴酒造・神戸市)において、藤原が報告を行った。【中近世肖像画研究プロジェクト】

12月7日～ 奈良国立博物館における特別陳列「重要文化財 法隆寺金堂壁画写真ガラス原版」展に協力し、所蔵台紙付写真を出陳した。(～2020年1月13日迄)。【本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト】

12月9日 国立歴史民俗博物館にて所蔵史料の調査を行った。(黒嶋・渡辺)【港湾都市図研究プロジェクト】

12月9日 画像史料解析センター運営委員会。

12月10日～13日 宮崎県都城市に出張し、都城島津邸所蔵史料の調査を行った。(黒嶋・須田・畑山)【港湾都市図研究プロジェクト】

12月26日 科学研究費(18K00168ほか)による研究会「絵画の再生—改装・復元・復元根拠」(於早稲田大学)において谷が報告を行った。【本所所蔵台紙付写真・ガラス乾板に関する研究プロジェクト】

画像史料解析センター—時移転のお知らせ

東京大学史料編纂所本館の2020年度耐震改修工事に伴い、画像史料解析センターは浅野キャンパス内文学部アネックス2階に移転いたしました(最寄駅:千代田線根津駅)。郵便物宛先・電話番号などは従来通りで変更はございませんが、当センターへお越しの際はご注意ください(2021年春までの予定)。

東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター通信 第88号

2020年1月31日発行

編集 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター(編集担当:井上 聡・三島 暁子)

発行 東京大学史料編纂所

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話:03-5841-8420 E-mail:gazo@hi.u-tokyo.ac.jp

印刷 ヨシダ印刷株式会社

©2020 Center for the Study of Visual Sources

Historiographical Institute, The University of Tokyo

ISSN 2435-0265